

景気観測調査モニター事業所
ご担当者各位

岡山商工会議所

令和4年7～9月期
景気観測調査の結果について（ご報告）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
ご協力を頂いております標記調査について結果を取りまとめましたので、下記のとおり報告させていただきます。

記

1. 調査概要

- ・調査対象：県下商工会議所会員企業 572 社
- ・調査時期：9/1～9/15
- ・有効回答数：520 社（回収率 90.9%）

2. 令和4年7～9期「景況概要」

「仕入価格の上昇と新型コロナ感染拡大第7波の影響で、景況DIは2期ぶりに悪化」

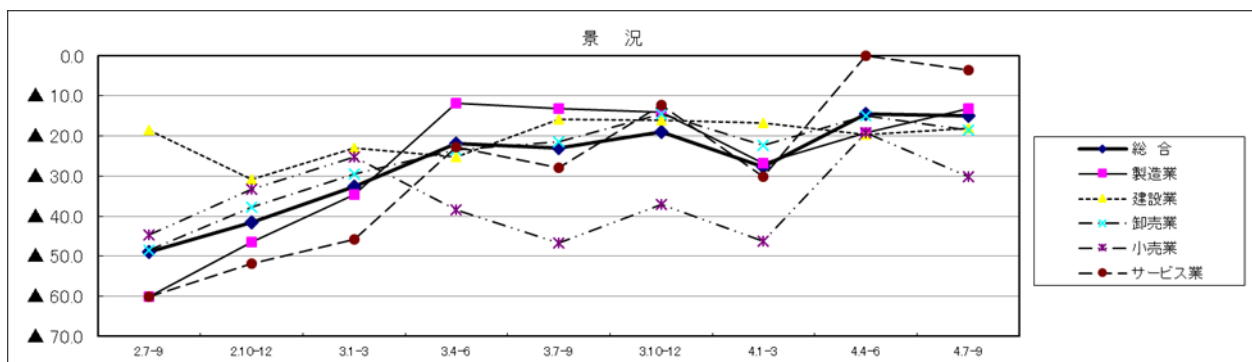
景況全体では、前年同期（令和3年7～9月）と比べて、「好転」から「悪化」を差し引いた総合DI値は▲15.0となり、前期に比べ0.5ポイント低下し、2期ぶりの悪化となった。

製造業や建設業において、生産額・売上額が改善したことや価格転嫁が進んだことで収益性が改善した一方で、小売業・サービス業では新型コロナウイルスの感染拡大第7波の影響などで売上が低迷した。

経済活動の本格的な再開が期待されるものの、仕入価格の上昇が3期続けて調査開始以来最悪を記録し、円安傾向の是正も見通しが立たないことから、地域経済の先行きは予断を許さないと考えている。

※DIは各調査項目について判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向（「良い」）の回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向（「悪い」）の回答割合が多いことを示す。

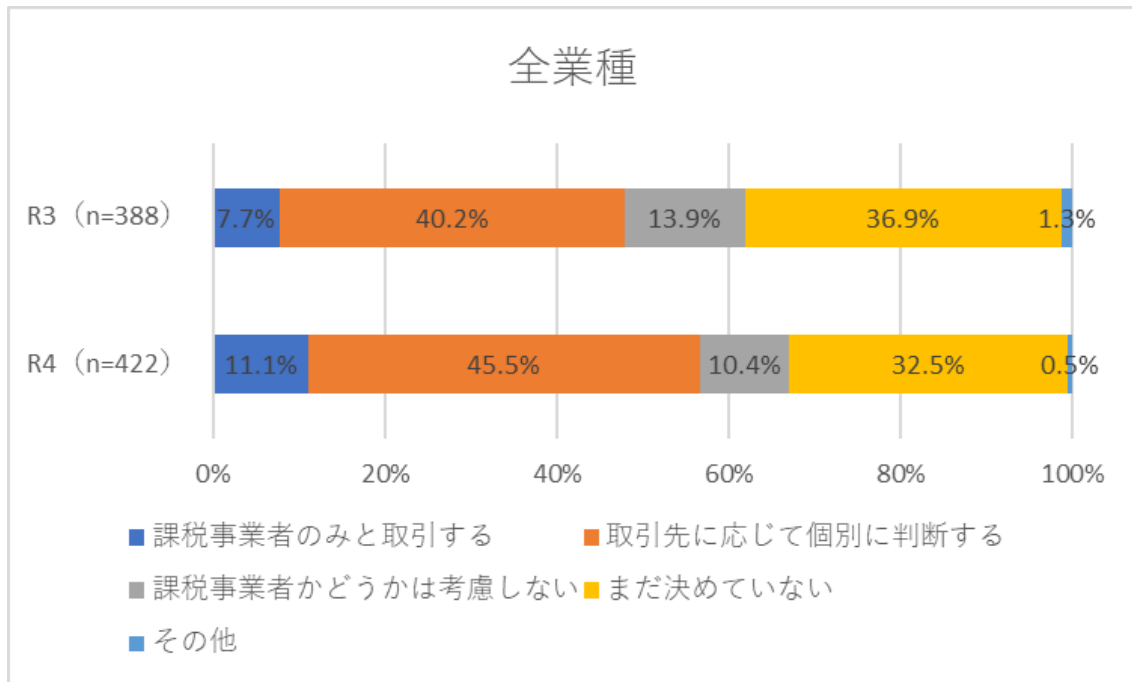
DI = (増加・好転など「良い」の回答割合) - (減少・悪化など「悪い」の回答割合)



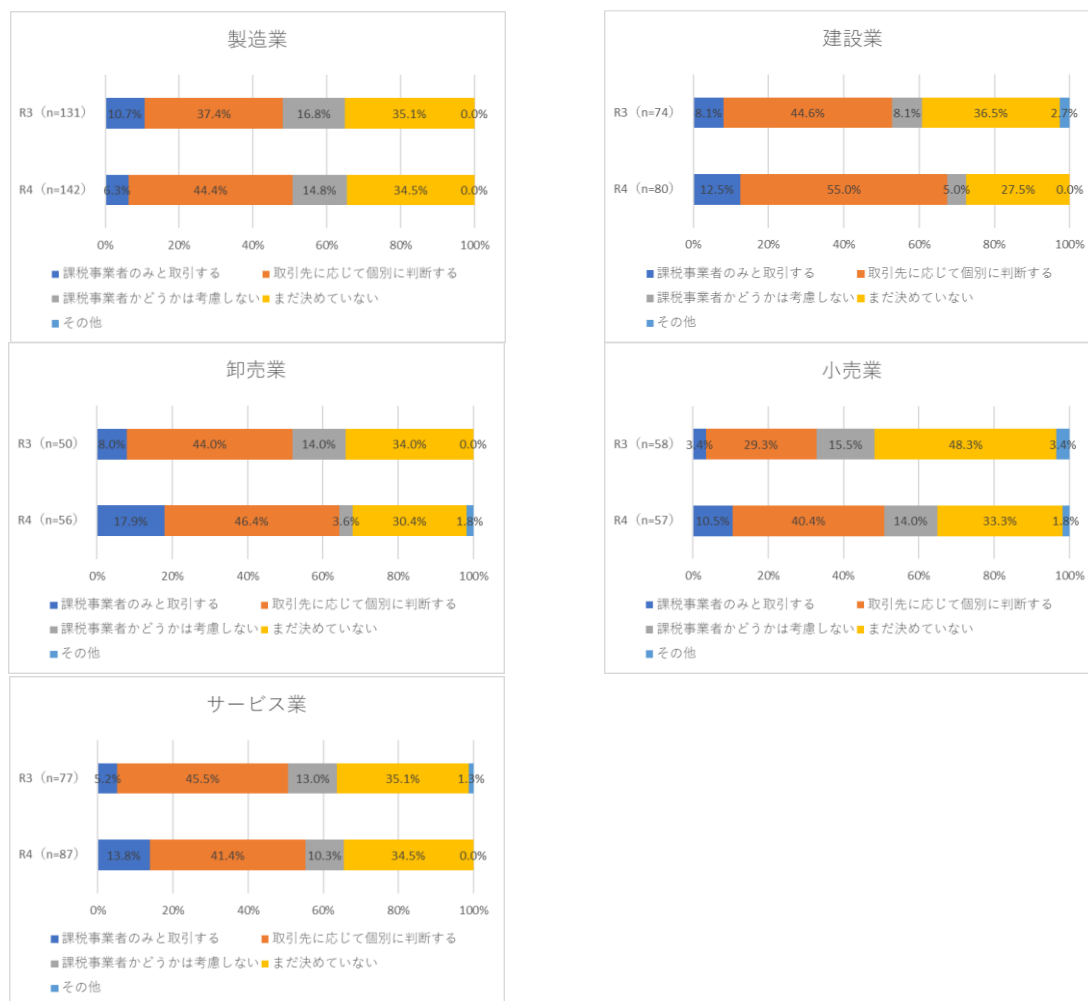
景況	27-9	210-12	31-3	34-6	37-9	310-12	41-3	44-6	47-9	今期-前期
総合 (520)	▲49.0	▲41.6	▲32.6	▲21.8	▲22.9	▲19.0	▲27.7	▲14.5	▲15.0	▲0.5
製造業 (175)	▲60.1	▲46.4	▲34.6	▲11.7	▲13.1	▲14.0	▲26.7	▲19.1	▲13.2	5.9
建設業 (90)	▲18.5	▲30.8	▲23.1	▲25.3	▲15.7	▲16.1	▲16.7	▲19.5	▲18.0	1.5
卸売業 (65)	▲48.5	▲37.7	▲29.4	▲23.5	▲21.4	▲14.5	▲22.4	▲14.9	▲18.5	▲3.6
小売業 (75)	▲44.7	▲33.3	▲25.3	▲38.5	▲46.8	▲37.0	▲46.2	▲19.2	▲30.1	▲10.9
サービス業 (115)	▲60.0	▲51.9	▲45.7	▲22.7	▲27.8	▲12.3	▲30.1	0.0	▲3.5	▲3.5

3. 付帯調査：消費税インボイス制度への対応について※課税事業者(本則)の回答のみ集計

【図1】インボイス制度が導入された場合の商品・サービスの仕入先の選定について



【図2】業種別比較



景気観測調査の詳細は当所HPに掲載しています。

HP内の検索バーから「景気観測調査」と入力してご確認ください。

本件担当：岡山商工会議所 企画推進課（綾野）TEL.086-232-2262 FAX.086-225-3561